



▲鉢伏 旧「共同浴場」正面

## 住民交流の思い出の場 鉢伏共同浴場

大正11年(1922)7月に鉢伏地区に共同浴場が開かれました。当時の鉢伏は戸数73戸を有する大字でしたが、入浴しようと思うと宇野気まで出かけるか、窮屈な桶風呂に入るしかありませんでした。そのような中、堂高梅松氏を中心に有志が集まり、間口三間奥行八間の瓦葺共同浴場を開設しました。同じような共同浴場は戦後しばらくまで全国各地にありましたが、家庭風呂の普及や掃除当番などの負担の重さから次々と姿を消していきました。しかし、鉢伏共同浴場は令和2年(2020)12月に閉鎖されるまで98年間の長きに渡り住民の手で運営されてきました。共同浴場が残る集落としてマスメディアに取り上げられたこともありました。

現在の建物は、昭和44年(1969)8月に改築されたものです。築56年が経過し、老朽化が進んでいますが、内部の脱衣場にはソファやベビーベッドが置かれ、当時の面影を残しています。地域の近代化の象徴であり、住民交流の思い出の場として、貴重な建物だといえます。



▲くつろぎ・交流の場であった脱衣場

かほく市史編集専門委員会 集落部会長 ごあいさつ

寺口 学

集落部会では、令和14年に刊行予定の「資料編8集落」を担当しています。市内にある55の集落単位で、その歴史や風俗などをまとめた内容となります。

旧宇ノ気・七塚・高松の3町史でも集落についてまとめられており、それをただ書き写していくだけでは面白くありません。『かほく市史』バージョンとして新しい情報などを盛り込みつつ、みなさんに関心を持っていただくため、広い視野で内容を考えていく必要があると思っています。

学校教育では調べ学習で、生涯学習では幅広い世代に活用していただける、そして自分の集落にはこんな魅力があったのかと“発見”していただける内容を目指して、編(あ)んでいきたいと思っています。

そのためには、みなさんからの情報提供は欠かせません。どんなことでも構いませんので、集落にまつわる“あんなこと、こんなこと”をお寄せいただければと存じます。

かほく市史編さん委員会を開催しました



▲市史編さん事業の進捗を確認



◀市長から委嘱状が手渡されました

令和7年10月7日(火)にかほく市史編さん委員会を開催しました。会議ではまず、油野市長から9名の委員の方々に委嘱状が交付されました。また、事務局から図説編の販売、活用状況や資料編の進捗状況が報告されました。委員の皆さんからは「民俗編ではもっと祭りについて載せるとよい」「市民が求め易い価格設定にするべき」など様々な意見が出されました。

今後、これらの意見を編さん事業に反映させ、市民の皆様にもすこしでも興味を持っていただけるような市史になるよう努めてまいります。

編さん委員とは、各種団体や学識経験者の中から、市民の代表として市史編さん事業に関わっていただく方々です。よろしくお願いします。

氏名	所属団体・役職	氏名	所属団体・役職
南 春夫	かほく市商工会会長	東四柳史明	金沢学院大学名誉教授
瀬戸 薫	かほく市文化財保護審議会会長	袖吉 正樹	かほく市文化財保護審議会
浅見 洋	西田幾多郎記念哲学館館長	星名 葉子	河北郡市退職校長会
中本 利光	かほく市町会区長会連合会	種本 博	元かほく市農業委員会
新田美智代	かほく市女性協議会	(任期:令和7年10月1日~9年9月30日)	

## コラム かほく市の歴史お宝



### 「かほく市の奉納絵馬」

みなさんは絵馬と言われるとどのようなものを思い浮かべるでしょうか。無病息災や受験合格などを祈願して奉納する手のひらサイズの絵馬を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。このような手のひらサイズの絵馬のみならず、画用紙サイズの絵馬や畳サイズを超える物まで多種多様の絵馬が神社に奉納されています。また絵馬に描かれている図柄も神社によって異なり、その地域の歴史や風俗が如実に描かれているものが数多く存在します。

例えば、木津神明神社には順風満帆に海上を航行する弁財船の図額6点が掲げられています。このように海運業や漁業が盛んだった旧七塚町の神社には海上安全や豊漁を祈願する絵馬が掲げられていることが多いようです。



▲弁財船図額（木津 神明神社）



▲誕生記念の絵馬（上田名 藤森神社）

一方、旧宇ノ気町の神社には子供の誕生を記念して奉納された絵馬を多く見ることができます。地域の関係者の方から話を伺うと、男児の誕生(特に長男)を祝ってその年の秋祭り等の祭事に合わせて奉納することです。また、新たに奉納されたものが掲げられると、古い絵馬は奉納者に返還されたり倉庫に収められたりしているとのことでした。令和7年に奉納された絵馬も見ることができましたが、近年その風習が途絶えてしまった地域もあるそうです。

他にも市内の神社においてさまざまな絵馬が見られます。明治初期に活躍した金沢を代表する浮世絵師、狩野恒信が描いた「門出八島」図額(大崎 榊原神社)のように名のある絵師による絵馬もありますので、神社に参拝される際には、神社ごとの絵馬を目にするのも楽しみのひとつとしてみてはいかがでしょうか。



▲狩野恒信「門出八島」図額（大崎 榊原神社）

絵馬については「図説 かほく市と歴史と文化」にも掲載されていますのでぜひご覧ください。

## かほく市史民俗編 「年中行事」の電子アンケートにご協力を！

かほく市史編集専門委員会民俗部会では、正月や盆など毎年同じ時期（同じ日）に行っている特別な日の過ごし方について調査し、かほく市の皆様が1年を通してどのような生活をしているのかを記録することを目的に、以下のとおり電子アンケートを実施します。  
多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### <調査期間>

令和8年1月中旬～2月28日（土）

### <調査方法>

スマートフォンで右のQRコードを読み取ってください。

### <質問の一例>

テーマ 【年中行事】

#### ◇正月の食事

Q おせち料理を家庭で作りますか？

1 はい 2 いいえ 3 以前は家庭で作っていた（やめた理由： )

Q 「（はい）」の場合）どんなものを作るか教えてください。

（自由記載

など

アンケートの  
回答は  
こちらから ⇒



## 編さん室の歩み(活動記録) 令和7年10月 ～ 令和8年1月

10～11月	(古代・中世) 文献、現地調査 2回 10/12, 11/30
10～12月	(民俗) 古民家調査 3回 10/20, 11/27, 12/19
10～1月	(民俗) 聞き取り・現地調査 10回 10/20, 11/6, 11/13, 11/15, 12/4, 12/6 12/7, 12/10, 12/14, 1/29
10～11月	(寺社) 文献、現地調査 3回 10/23, 11/20, 11/25～11/27
11月	(現代) 収蔵庫文献調査 1回 11/13
12月	(近代) 図書文献調査 1回 12/17

10月7日	市史編さん委員会
11月1日	編さんだより第10号発行
11月9日	第5回古代・中世部会
12月6日	第2回近代部会
12月24日	第2回寺社部会
12月25日	第6回古代・中世部会

▶ 瀬戸菅原神社で  
神輿を調査



お問合せ・資料の提供はこちらまで

かほく市史編さん室

〒929-1215

かほく市高松ク4 2番地1

かほく市高松産業文化センター 3階

TEL: (076) 281-3455

FAX: (076) 281-3521

E-mail: shishi@city.kahoku.lg.jp

かほく市史をお求めの方は  
こちらから ⇒

※遠方の方へは現金書留

(送料実費) にて承ります。

